

## 使用する前に

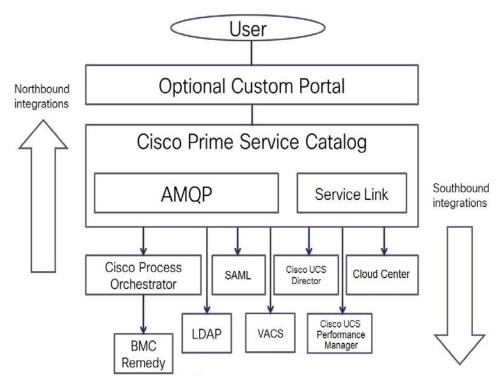
Cisco Prime Service Catalog は、企業 IT で使用される(ユーザごとに販売されるライセンス)、およびクラウドコンピューティングで使用される(サーバごとに販売されるライセンス)、セルフサービス ポータル、サービス カタログ、およびライフサイクル管理ソフトウェアを従業員に提供します。これらのサービスはサービス設計者により Cisco Prime Service Catalog で設計され、Service Catalog ポータルでエンドユーザが注文できるようになっています。

こうしたサービスにはITサポートが従業員にラップトップを提供するためにラップトップを注 文するなどの単純なサービスもあれば、さまざまなタスクの自動化やオーケストレーションを必 要とするアプリケーション スタックのプロビジョニングなどの複雑なサービスもあります。

自動化やオーケストレーションを必要とするサービスを実行できるように、Prime Service Catalog は外部システムと統合されます。外部システムには外部ディレクトリ、ドメインマネージャ、BMC Remedy SRM、Cisco UCS Director などがあります。

サービスを要求したりサービス項目を管理したりするコールを発信するアプリケーションは統合設計のノースバウンドにあり、要求を受信し、必要な処理を実行し、応答を送信するアプリケーションは統合設計アーキテクチャのサウスバウンドにあります。たとえば、サービス要求のために Service Catalog に API コールを発信する企業のカスタム ポータルは、Prime Service Catalog のノースバウンドにあり、必要な操作を実行するために Prime Service Catalog から API コールを受信する他のアプリケーションは、Prime Service Catalog のサウスバウンドにあります。

## 図 1-1 統合シナリオの例



サービス要求/提供のワークフローにおいて、Prime Service Catalog は Cisco Process Orchestrator と統合されます。統合された Cisco Process Orchestrator は他のアプリケーションと対話してサービス要求を実行できるようにします。統合の設計によっては、外部アプリケーションと直接対話する場合もあります。つまり、Prime Service Catalog は、サウスバウンドコールを行って直接、または Cisco Process Orchestrator を経由して、外部アプリケーションと対話します。

Service Catalog が企業ポータルと統合される実装もいくつかあります。これは、各サービスが企業ポータル内で企業により定義されており、Prime Service Catalog を使用して設計、提供されることを意味します。したがって、エンドユーザは企業ポータルを使用してサービス要求を送信し、ポータルは Prime Service Catalog と対話してサービスを提供します。

Prime Service Catalog 統合に関する次のシナリオを考えます。

シナリオ:ユーザは自分自身を組織グループに追加する必要があります。

## ワークフロー:

- 1. Service Designer によりサービスが設計されます。このとき、サービス フォームには次の詳細 が含まれています。
  - ユーザ ID、グループ名(ドロップダウン リスト)、ユーザ名、要求名「Join Group」。
- 2. ユーザが Service Catalog にログインし、サービス「Join group」を要求します。
- 3. ユーザがサービス フォームに詳細を入力し、[送信(submit)] をクリックします。
- **4.** Prime Service Catalog はユーザの詳細とサービス フォーム属性をサービス フォームから取得し、それを Service Link に送信します。

- **5.** Service Link が Active Directory に対して、ユーザをグループに追加する API コールを行います。
- 6. Active Directory が要求を実行し、HTTP 応答 200 を返してワークフローが完了します。



(注)

Prime Service Catalog の Service Link モジュールにより、Prime Service Catalog の外部システムとの統合が実現できます。